

平成25年度病虫害発生予報第6号

平成25年9月3日
愛知 県

普通作物

・予報内容

作物名	病虫害名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
イネ	いもち病 (穂いもち)	少ない	全域	8月下旬の発生量は少ない 8月上旬の葉いもちの発生量は少なかった 主要品種は穂いもちに強い 9月の降水量は多い	— — — +
	トビイロウンカ	やや多い	全域	8月下旬の発生量はやや多い	+
	ツマグロヨコバイ	やや少ない	全域	8月下旬の発生量はやや少ない	—
	コブノメイガ	平年並	全域	8月下旬の発生量は平年並	±
	フタオビコヤガ	平年並	全域	8月下旬の発生量は平年並	±
	斑点米カメムシ類	やや多い	全域	8月下旬の発生量はやや多い	+
ダイズ	ハスモンヨトウ	平年並	全域	8月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない	± —

・防除対策

[イネ・斑点米カメムシ類]

7月2日発表の「平成25年度病虫害発生予報注意報第2号」を参照してください。

[イネ・トビイロウンカ]

本日発表の「ウンカ情報第4号」を参照してください。

・留意事項

ハスモンヨトウは、残暑が厳しく降雨の少ない年に多発する傾向があります。今後の発生状況に注意してください。防除対策については、本日発表の「ハスモンヨトウ情報第2号」を参照してください。

果樹

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
ウンシュウミカン	黒点病	やや多い	全域	8月の枯れ枝上の孢子形成量はやや多い 8月下旬の発生量はやや少ない 9月の降水量は多い	+ - +
	ミカンハダニ	少ない	全域	8月下旬の発生量は少ない 9月の気温はやや高い 9月の降水量は多い	- + -
	チャノキイロアザミウマ	平年並	全域	8月下旬の発生量は少ない 黄色粘着トラップにおける誘殺数はやや多い	- +
モモ	せん孔細菌病	やや多い	全域	8月下旬の発生量は平年並 9月の降水量は多い	± +
	モモハモグリガ	少ない	全域	8月下旬の発生量は少ない フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない	- -
ブドウ	べと病	平年並	全域	8月下旬の発生量はやや少ない 9月の降水量は多い	- +
カキ	炭疽病	平年並	全域	8月下旬の発生量はやや少ない 9月の降水量は多い	- +
	うどんこ病	平年並	全域	8月下旬の発生量は平年並	±
果樹共通	カメムシ類	やや多い (9月下旬)	全域	予察灯における誘殺数はやや多い ヒノキ球果の口針鞘数調査結果に基づく予測離脱時期	+ +

・防除対策

〔ウンシュウミカン・黒点病〕

伝染源を減らすため、枯れ枝は取り除き、ほ場から持ち出し適切に処分しましょう。
前回散布後の累積降水量 250mmを目安として、ジマンダイセン水和剤やデランフロアブルなどで防除しましょう。

〔モモ・せん孔細菌病〕

多発生ほ場では、病原細菌の越冬密度を低下させるため、秋期にICボルドー412などを散布しましょう。

〔果樹共通・カメムシ類〕

果樹カメムシ類がヒノキ林から離脱して果樹園へ飛来する時期は、8月下旬時点のヒノキ球果の口針鞘数から、9月下旬と予測します。詳細は、本日発表の「果樹カメムシ情報第3号」を参照してください。

・留意事項

ウンシュウミカンでは、チャノキイロアザミウマの発生量が多いほ場があります。チャノキイロアザミウマ第7世代成虫の発生ピーク日は、名古屋市9月12日、豊橋市及び伊良湖9月16日、蒲郡市及び南知多町9月18日、愛西市9月20日、岡崎市9月23日、豊田市9月24日、新城市9月28日、稲武町における第5世代成虫の発生ピーク日は、9月11日と予測します(9月2日までの実測値で計算)。発生ピーク予測を参考に、防除しましょう。防除薬剤については、8月1日発表の「チャノキイロアザミウマ情報第4号」を参考にし

てください。

ナシでは、ナシヒメシンクイの発生量は現在のところ平年並ですが、例年9月第1半旬に成虫の発生量が多くなるので、成虫発生ピークの7～10日後に防除しましょう。ハダニ類の発生が多いほ場では、早期落葉を防ぐために防除しましょう。ナシ黒星病の発生量が多かったほ場では、越冬病原菌量を減らすため、秋期防除を徹底しましょう。

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キャベツ	黒腐病	やや多い	全域	9月の降水量は多い	+
ダイコン ハクサイ キャベツ	コナガ	平年並	全域	フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	±
	ハイマダラノメイガ	やや多い	全域	8月の気温は高かった 9月の気温はやや高い 9月の降水量は多い	+ + -
ネギ	さび病	やや少ない	全域	6月下旬の発生量は平年並 9月の気温はやや高い	± -
ハウレンソウ	ミナミキイロアザミウマ	平年並	全域	8月下旬の露地ナスでの発生量は平年並 9月の気温はやや高い 9月の降水量は多い	± + -
ナス (施設)	ミナミキイロアザミウマ	平年並	全域	8月下旬の露地ナスでの発生量は平年並	±
トマト (施設)	コナジラミ類	平年並	全域	黄色粘着トラップにおける誘殺数は平年並	±
野菜共通	ハスモンヨトウ	平年並	全域	フェロモントラップにおける誘殺数は平年並 9月の気温はやや高い 9月の降水量は多い	± + -
	オオタバコガ	やや多い	全域	フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い 9月の気温はやや高い 9月の降水量は多い	+ + -

・防除対策

〔キャベツ・黒腐病〕

長雨や強風を伴う降雨後に発生が多くなるので、天候に注意し、バリダシン液剤5やカセット水和剤などで防除しましょう。

〔ダイコン、ハクサイ、キャベツ・ハイマダラノメイガ〕

ダイコンではハチハチ乳剤、フェニックス顆粒水和剤など、ハクサイではプリンスフロアブル、スピノエース顆粒水和剤など、キャベツではプレオフロアブル、プレバソンフロアブル5などで防除しましょう。

〔野菜共通・オオタバコガ〕

8月16日発表の「平成25年度病害虫発生予察注意報第3号」を参照してください。

・留意事項

気象予報によると、9月は気温がやや高く、降水量は多いと予想されています。チョウ目害虫の発生に特に好適な気象条件ではありませんが、育苗中や定植直後に食害されると被害が大きくなります。育苗ほでの防虫ネットの設置、育苗期間中や定植時に農薬を使用するなど、十分な対策を実施しましょう。ハスモンヨトウの防除対策については、本日発

表の「ハスモンヨトウ情報第2号」を参照してください。

野外に設置した黄色粘着トラップにおけるコナジラミ類の誘殺数は、おおむね平年並かやや少ない状況で推移しています。しかし、タバココナジラミは、トマト黄化葉巻病の病原ウイルス（TYLCV）を媒介しますので、防除対策を徹底しましょう。詳細は、本日発表の「トマト黄化葉巻病情報第1号」を参照してください。

花き

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キク (露地)	アブラムシ類	やや多い	全域	8月下旬の発生量が多い 9月の気温はやや高い 9月の降水量が多い	＋ ＋ －
	ハダニ類	平年並	全域	8月下旬の発生量は平年並 9月の気温はやや高い 9月の降水量が多い	± ＋ －
	アザミウマ類	やや少ない	全域	8月下旬の発生量はやや少ない 9月の気温はやや高い 9月の降水量が多い	－ ＋ －
	ハスモンヨトウ	平年並	全域	フェロモントラップにおける誘殺数は平年並 9月の気温はやや高い 9月の降水量が多い	± ＋ －
	オオタバコガ	やや多い	全域	フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い 9月の気温はやや高い 9月の降水量が多い	＋ ＋ －

・防除対策

〔キク（露地）・アブラムシ類〕

アドマイヤーフロアブル、ウララ50DFなどで防除しましょう。

〔キク（露地）・オオタバコガ〕

8月16日発表の「平成25年度病害虫発生予察注意報第3号」を参照してください。

・留意事項

ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺数は、平年並で推移しています。詳細は、本日発表の「ハスモンヨトウ情報第2号」を参照してください。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方气象台8月30日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

天気は、数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

週別の気温は、1週目は平年並みまたは高い確率とも40%です。3～4週目は平年並みまたは高い確率とも40%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：20% 平年並：40% 高い：40%

〔降水量〕 少ない：20% 平年並：30% 多い：50%

〔日照時間〕 少ない：40% 平年並：40% 多い：20%